

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年09月02日

計画の名称	一生涯、住み続けたいまち“あま”の実現												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	あま市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,674	A	1,640	B	0	C	34	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.03	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28年度末)	最終目標値 (H30年度末)
1	下水道処理人口普及率を、21.3%(H25年度末)から28.0%(H30年度末)に増加。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 行政人口(人)	21%	26%	28%
2	下水道施設および雨水ポンプ場の維持・修繕および改築に対応し施設管理を最適化するため、ストックマネジメント計画を策定。 ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画を策定した数(式) / スtockマネジメント計画を策定すべき数(式)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠(汚水)	新設	七宝第4処理分区始め1処理分区(未普及解消)	A=20ha	あま市						417	-	
	A07-002	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠(汚水)	新設	美和第3処理分区始め3処理分区(未普及解消)	A=20ha	あま市							592	-
	A07-003	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠(汚水)	新設	甚目寺第9処理分区始め3処理分区(未普及解消)	A=25ha	あま市							624	-
	A07-004	下水道	一般	あま市	直接	あま市	-	新設	ストックマネジメント計画	計画策定	あま市							7	-
												小計						1,640	
												合計						1,640	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠（ 污水）	新設	七宝第5処理分区（末端汚 水管）	A=1ha	あま市						9	-		
		基幹事業である汚水管きよと接続した末端管きよ整備を一体的に行うことにより、下水道の利用できる区域を効率的に拡大する。																		
	C07-002	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠（ 污水）	新設	美和第4処理分区始め1処 理分区（末端污水管）	A=1ha	あま市							13	-	
		基幹事業である汚水管きよと接続した末端管きよ整備を一体的に行うことにより、下水道の利用できる区域を効率的に拡大する。																		
	C07-003	下水道	一般	あま市	直接	あま市	管渠（ 污水）	新設	甚目寺第10処理分区始め1 処理分区（末端污水管）	A=1ha	あま市							12	-	
		基幹事業である汚水管きよと接続した末端管きよ整備を一体的に行うことにより、下水道の利用できる区域を効率的に拡大する。																		
											小計							34		
											合計							34		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 あま市上下水道部において実施。	事後評価の実施時期 令和元年度
	公表の方法 あま市の公式ウェブサイトにて公表。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備により、汚水排除による生活環境の改善および公共用水路の水質保全が図られた。 ・ストックマネジメント計画の策定により雨水ポンプ場施設を適切なタイミングで改築・更新を行うことができ、かつ、既存施設の耐用年数の延伸やライフサイクルコストの縮減のために必要な事業の把握が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>引続き、下水道未普及エリア解消のため整備を進める。 今後、ストックマネジメント計画に基づいて、雨水ポンプ場施設の改築・更新の事業を計画的に実施していく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（下水道処理人口普及率）	
	最終目標値	28%
	最終実績値	32%
2	指標（ストックマネジメント計画策定率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

